

令和 6 年度

事業報告書

目次

令和6年度 社会福祉法人深浦町社会福祉協議会事業報告書	1
1-1 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進	3
(1) 地域住民の主体的福祉活動の推進	
①ほのぼのコミュニティ 21 推進事業の実施 ②福祉安心電話の設置運営	
(2) 当事者社会参加の促進	
①いきいき交流会の開催 ②シルバーバンク事業の運営 ③福祉団体の活動支援と当事者の社会参加	
(3) 福祉課題の把握	
①地域福祉や介護保険等に関する情報収集	
2-1 地域福祉サービスの推進	4
(1) 介護保険事業等の運営	
①介護保険事業の運営 ②障害福祉サービス事業の運営 ③要支援者等外出支援事業の実施	
(2) 地域福祉活動の推進	
①生きがい活動推進事業の実施 ②食の自立支援事業の実施 ③高齢者等の生活支援体制整備事業の実施	
④ふれあい支援（保険外サービス）事業 ⑤脳の健康教室の実施 ⑥認知症カフェ（ゆとりカフェ）の実施	
2-2 福祉教育・ボランティア推進校の推進	9
(1) 福祉意識の高揚と人づくり	
①第20回深浦町社会福祉大会の開催	
(2) 福祉教育の推進	
①ボランティア活動推進校の指定 ②福祉出前講座の実施 ③福祉の作文集の発行	
(3) ボランティア活動の推進	
①ボランティアセンター事業の実施 ②災害ボランティアネットワークの構築	
2-3 福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能の充実	11
(1) 福祉情報の提供	
①社協だよりの発行 ②社協ホームページの管理	
(2) 相談体制の確立	
①心配ごと相談事業の実施 ②福祉サービス苦情解決第三者委員会の設置	
(3) 生活支援体制の確立	
①たすけあい資金貸付事業の実施 ②生活福祉資金貸付事業の実施 ③総合的権利擁護事業の推進	
④生活困窮者自立支援事業の協力 ⑤日常生活費預り事業の実施	
3-1 町社協基盤の充実強化	14
(1) 社協組織の強化	
①理事会・評議員会の充実 ②地区分会の組織と活動強化 ③フィットネスプラザゆとりの管理	
④第3次地域福祉活動計画周知及び進捗管理 ⑤業務継続計画（BCP）の策定	
(2) 職員体制の強化	
①職員の処遇安定 ②福祉専門職としての資質向上	
(3) 関係機関・団体との連携	
①社会福祉法人、事業者との連携 ②各種関係機関・職能団体への参加	
(4) 財政基盤の整備	
①会員会費制度の理解と加入促進 ②公費助成の確保 ③自主財源の確保	
④共同募金事業への協力 ⑤基金・積立金の運用 ⑥各種助成制度の活用	
令和6年度事業経過報告書	18

令和6年度 社会福祉法人深浦町社会福祉協議会事業報告書

総 括

1. 法人の運営

理事会・評議員会等運営に関する会議については、一部書面表決での決議はあったものの、各位のご協力によりすべての議案について議決をいただきました。

また、3年ぶりに県の指導監査を受け、指摘指導を受けたことについても報告改善をしたところであり、今後も適正な事業運営に努めてまいります。

年度途中で職員の退職があり、業務の異動、事務分担の変更、各職員の業務量の増加により、職員の負担が増加しましたが、各職員の相互連携により何とか乗り切ることができました。

専門職1名の採用はできましたが、介護・障害福祉サービス分野の人材確保については、今後も厳しい状況が続いてくるものと思われます。

2. 事業の実施状況

上記で経営面でもお伝えしたように、中途退職者があったことから、年度前半は非常に、事務局内でも混乱や予期せぬ対応に迫られた1年のように感じられました。

はじめに、町の総合防災訓練の一環として、災害ボランティアセンター設置訓練を実施し、行政とともに災害時のボランティア受け入れや住民の支援体制の在り方について確認ができました。国では災害救助法の改正により、法的に災害支援に関する福祉分野の活動を盛り込むことにしており、このことから今後も大規模災害時への相互連携を図りながら、業務継続化計画や災害時連携協定が有効的に機能できる取り組みを行っていききたいと思います。

生活福祉資金貸付事業は、長期滞納であった4件について、債務者、連帯保証人の死亡に伴い償還免除申請を行い決定されています。また、その他の借り受け者の中にも破産手続き中の者もあり、貸付制度の有効活用も図りながら償還指導も併せて行って行かなければと思う次第です。

権利擁護事業では、成年後見制度、日常生活自立支援事業共に利用件数が増加してきており、支援活動等の業務量も増加してきています。特に、受任者の財産管理のみならず、本人の意思を尊重しながら身上監護業務の見直しがされたところであり、専任職員の配置、後見支援員や生活支援員の配置等支援体制の構築が今後必須課題ではないかと思われます。更に受任者の多くが、不動産の相続登記を実施しておらず、罰則規定が設けられたことから、今後2年以内に、相続登記手続きを行う必要があります。

また、国では身寄りのない方への支援対策を検討しているところであり、支援実施機関として社会福祉協議会等が担うことが予想されています。情報収集及び研修が必要であると思われます。

生活困窮相談にあたっては、西北地域自立相談窓口及び町の関係機関との連携を図りながら相談援助にあたってきました。物価高騰による経済状況の悪化により、生活困窮相談も増加傾向にあります。食糧支援や就労支援、家計支援といった複合的な課題を持った方への対応が増加しており、今後、多機関連携等の国の重層的支援体制整備事業の取り組みについて行政へ働き掛けていくことが必要ではないかと考えるところです。

生活支援体制整備事業では、人口減少に伴う地域共生社会の実現において、地域の福祉力が必要不可欠であり、小地域での相互支援体制を創っていく必要があります。お助け隊の増員と事業のPRを図りながら、生活支援体制の整備を引き続き図っていきたいと考えます。また、早い段階で自分の老後を考える仕組みとしての老いじたく活動のPRをパンフレットや研修を通じて周知し、今後も積極的に老いじたく事業に取り組んでいきたいと考えます。

介護保険事業等に関しては、経営面において依然厳しい状況下にあります。令和6年4月に正職として採用した職員が退職し、補充をしていない状況です。人材の確保と経営面を考えた事業経営が重要な課題となっていますが、町内の他の事業者とも連携を図りながら、介護保険事業の経営を考えていきたいと思います。

関係機関等との連携として、従来からの福祉団体の事務局を担当していますが、老人クラブでは会員の減少等で単位クラブの運営自体が弱体化し、解散するクラブが増えています。母子寡婦、障害者団体においても新規加入者の減少と会員の高齢化により同様の状況下にあります。活動の活性化を図っていききたいと思います。また、地域の担い手不足が深刻化してきている中で、難しい課題であると思います。

また、法人等連絡会事業では、令和6年度事業を実施することができませんでした。令和7年度については、社協町村合併20周年記念と合わせて、他法人との共催事業に取り組みしたいと思います。

3. 経営状況

資金収支計算では、昨年度末の補正予算により黒字を見込んでいましたが、決算ではそれ以上にプラスにすることができました。

しかし、最低賃金の上昇に伴い、給与水準の底上げも必要になり、特別昇給を実施したところですが、物価高騰への対応とも合わせて、財源の確保は今後重要な課題となります。

また、介護保険事業については、本会が主とする訪問介護事業の報酬がマイナス改定となったことから、取得できる加算の取得により、収入の増額に努めたところです。

法人全体ではプラスとなっているものの、介護保険事業はまだ黒字化には至っておりませんが、訪問活動用自動車の老朽化により、順次入れ替えをしなければいけない状況にあり、各種助成事業の活用や積立金の取り崩しが必要になると思われます。

社会福祉協議会全体としても、今後も経営の視点から業務の改善等に取り組んでいく必要性は大きく感じます。

※詳細は決算書参照

1-1 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

(1) 地域住民の主体的福祉活動の推進

①ほのぼのコミュニティ 21 推進事業の実施

- ・全地区を対象として実施
- ・コーディネーターの配置（兼任職員 1 名の配置）
- ・一人暮らし老人、高齢者等の要援護者の状況の把握し、安否の確認の実施

②福祉安心電話の設置運営

- ・新規設置台数 4 台
- ・退会者の取外し 2 台
- ・電池交換
- ・年末年始の友愛訪問の実施
- ・着信状況

通知状況				対応状況			
緊 急	A C 復電	A C 停電	計	協力員を 要請	救急車を 要請	停電・協力 員を要請	計
0	0	0	0	0	0	0	0

- ・地区別設置台数 ※()は前年度

No.	地 区	台数	No.	地 区	台数	No.	地 区	台数	No.	地 区	台数
1	横 磯	1(1)	5	1 2 区	0(1)	9	風合瀬	1(1)	13	正 久	1(0)
2	6 区	2(2)	6	相野山	1(0)	10	晴 山	1(2)	14		
3	崎の町	1(1)	7	塩見崎	1(2)	11	関	2(2)	15		
4	川原町	1(1)	8	轟 木	9(6)	12	岩崎下	2(2)	合計台数		23(21)

(2) 当事者社会参加の促進

①いきいき交流会の開催（共同募金配分事業）

- ・全 1 回、午前中のみ開催

No.	開催日	会 場	参加者	内 容
1	10 月 24 日	多目的ホール	104 名	・青い鳥保育園の遊戯 ・鯨ヶ沢警察署 特殊詐欺に注意 ・カラオケ ・民謡 ・お楽しみ抽選会

②シルバーバンク事業の運営

- ・高齢者の生きがい社会参加促進のための、シルバーバンクの運営
- ・シルバーバンク会員 32 名（令和 7 年 3 月 31 日現在）
- ・作業実績

月	作業内容	件数	作業 時間	作業 人員
5	機械除草	5	12	4
6	機械除草	14	28	5
	運転業務	3	27	3
7	機械除草	11	24	4
	部屋清掃	1	2	1
	運転業務	3	42	3
8	機械除草	12	28	4
	枝伐採・剪定	2	9	1
	運転業務	3	27	3
	建具職	1	2	1

月	作業内容	件数	作業 時間	作業 人員
9	運転業務	3	33	3
	機械除草	3	10	1
10	運転業務	3	42	3
	機械除草	10	27	4
	煙突交換	1	1	1
11	運転業務	3	21	3
12	除雪	11	13	4
1	除雪	19	22	5
2	除雪	25	30	5
合 計		133	400	58

③福祉団体の活動支援と当事者の社会参加

- ・ 深浦町老人クラブ連合会事務局
連合会の運営と各種会議、行事の開催
- ・ 深浦町心の福祉会（身体障害者福祉会）事務局
福祉会の運営と各種会議、行事の開催
- ・ 深浦町白百合福祉会（母子寡婦福祉会）事務局
福祉会の運営と各種会議、行事の開催
- ・ 青森県共同募金会深浦町共同募金委員会事務局
委員会の運営と各種会議、行事の開催

（３）福祉課題の把握

①地域福祉や介護保険等に関する情報収集

2-1 地域福祉サービスの推進

（１）介護保険事業等の運営

①介護保険事業の運営

ア．訪問介護事業の実施

- ・ 生活援助、身体介護、通院等乗降介助により要介護者の生活の自立を図った
- ・ 訪問介護員 9 名（兼務含む）
- ・ 3 月末訪問利用者 21 名
- ・ 年間利用実績

区分	利用者	身体介護		生活援助		身体＋生活		乗降介助		合 計	
		回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4 月	19	33	19.9	46	42.2	27	35.0	30	19.4	136	116.5
5 月	18	33	23.0	50	46.1	20	28.6	18	11.9	121	109.6
6 月	22	32	21.3	54	50.8	20	27.6	8	3.6	114	103.3
7 月	28	53	36.4	76	70.3	19	25.6	16	7.1	164	139.4
8 月	24	54	34.3	54	49.8	22	29.1	10	5.1	140	118.3
9 月	22	51	31.0	57	54.0	23	30.9	12	9.7	143	125.6
10 月	22	51	28.2	64	60.1	21	29.0	6	1.4	142	118.7
11 月	20	53	28.5	54	49.1	16	19.9	21	10.8	144	108.3
12 月	23	54	29.3	61	55.9	13	16.7	14	26.9	142	128.8
1 月	22	56	32.1	61	55.4	12	15.8	10	5.5	139	108.8
2 月	23	61	32.9	63	58.0	15	12.8	10	2.9	149	106.6
3 月	21	64	37.3	63	57.1	8	11.8	11	6.2	146	112.4
合計	264	595	354.2	703	648.8	216	282.8	166	110.5	1,680	1,396.3

イ．介護予防・日常生活支援総合事業の実施 訪問型サービスの実施

- ・ 3 月末訪問利用者 8 名
- ・ 年間利用実績

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者	13	13	13	13	13	13	13	12	10	8	8	8	137
訪問回数	57	59	57	53	55	57	59	47	42	32	33	34	585
訪問時間	65.8	47.8	45.5	42.6	44.5	46.0	47.8	38.5	34.4	26.0	26.6	27.8	493.3

ウ. 訪問入浴介護事業の実施

- ・自力での入浴が困難な方を、訪問入浴車により、自宅での居室内で入浴させ清潔保持を図った
- ・3月末訪問利用者1名
- ・年間利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
入浴回数	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	0	2	45

エ. 居宅介護支援事業の実施

- ・要介護者の自立した生活を維持するため、利用者の希望に即したケアプラン作成を実施した
- ・年間利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業	12	12	12	12	12	12	11	11	10	10	9	8	131
要支援1	8	8	8	8	8	7	8	8	8	7	7	7	92
要支援2	4	4	4	4	4	3	5	5	5	4	4	3	49
要介護1	25	24	25	25	26	25	23	24	25	24	24	22	292
要介護2	6	7	7	8	8	7	7	7	7	7	7	9	87
要介護3	11	10	9	9	9	10	10	10	11	10	10	9	118
要介護4	5	5	6	6	5	5	6	6	5	5	5	5	64
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	71	70	71	72	72	69	70	71	71	67	66	63	833

オ. 介護認定の受託

- ・認定調査員（介護支援専門員）による調査
- ・年間利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	5	5	3	1	8	3	7	6	4	4	9	5	60

カ. 介護予防ケアマネジメント支援業務の受託

- ・介護予防支援計画及び介護予防ケアマネジメントの作成業務の受託
- ・年間利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防支援	7	7	7	7	7	6	7	7	7	6	6	6	80
ケアマネジメント	17	17	17	17	16	16	16	18	16	15	14	13	192
合計	22	22	23	23	24	24	24	25	23	23	24	24	272

キ. 町包括支援センター協力機関業務の受託（ブランチ）

- ・町内に居住する概ね65歳以上の高齢者及び家族に対する相談業務の実施
- ・年間利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	24	24	24	24	23	22	23	25	23	21	20	19	272

②障害福祉サービス事業の運営

ア. 居宅介護・重度訪問介護事業の実施

- ・生活援助、通院等乗降介助により生活の自立を図った
- ・3月末訪問利用者 5 名

・年間利用実績

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
家事 援助	回数	37	36	29	29	37	38	33	37	39	37	31	34	417
	時間	34.25	32	27.25	27.75	34	35.5	30.75	36.75	38.5	34	29.5	31.75	392
通院乗降 (回数)		4	20	8	6	8	8	6	10	10	4	10	8	102

イ. 特定・障害者（児）相談事業の実施

- ・障害者（児）が適切なサービスを受けられるよう支援する事業の実施
- ・相談支援専門員初任者研修の受講 職員 2 名
- ・3月末実利用者 20 名
- ・年間利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	3	5	5	4	3	1	2	4	5	5	5	4	46

ウ. 障害支援区分認定調査の実施

- ・認定調査員現任研修の受講 職員 2 名
- ・区分認定調査の実施 1 件

エ. 重度障害者訪問入浴事業の実施

- ・利用実績なし

③要支援者等外出支援事業の実施

- ・福祉有償運送事業許可を継続し、ケア輸送、介護輸送、障害輸送を実施
- ・登録者 72 名（内訳：ケア輸送 44 名、介護輸送 24 名、障害輸送 4 名）
- ・年間利用実績

区分	利用件数			走行キロ		
	ケア	介護	障害	ケア	介護	障害
4月	7	16	2	624	1,161	139
5月	8	15	10	512	1,037	289
6月	12	11	4	525	652	239
7月	11	19	4	525	1,069	313
8月	10	15	4	518	823	168
9月	13	12	4	731	940	247
10月	12	9	3	758	470	158
11月	9	15	5	938	856	281
12月	13	11	6	1,033	735	262
1月	14	9	2	1,384	428	131
2月	13	7	5	809	433	203
3月	5	11	4	362	771	240
合計	127	150	53	8,719	9,375	2,670

(2) 地域福祉活動の推進

①生きがい活動推進事業の実施

- ・町内全地区において毎週1回、高齢者の生きがいづくりとレクリエーションを実施
- ・運動指導員を配置し、健康増進の活動を実施
- ・生きがい活動支援員7名を委嘱
- ・年間利用実績

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施地区		32	32	32	32	32	32	32	32	31	31	31	31	
実施回数		122	126	126	145	105	135	146	131	123	116	112	129	1,516
参加人数		829	849	853	932	633	868	928	865	783	729	683	808	9,760
内訳	男	69	73	75	79	52	68	70	67	61	48	45	61	768
	女	760	776	778	853	581	800	858	798	722	681	638	747	8,992

※新型コロナウイルス感染症及び支援員の不足により中止も多くなった

※冬季間（12月～3月）、長慶平地区休止

②食の自立支援事業の実施

- ・一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象に配食サービスを実施（旧深浦地区対象 1食300円個人負担）
- ・「桃の木」で調理された弁当を社協で配達する（週2回、水・金の夕方）
- ・年間利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	7	6	6	6	6	6	7	7	7	6	5	5	74
延利用者数	52	60	48	52	54	48	59	63	54	39	38	40	607

③高齢者等の生活支援体制整備事業の実施

- ・生活支援コーディネーターを配置（専任職員2名配置）
- ・生活支援体制整備事業協議体の設置及び開催

No	月	日	案 件
1	5	9	・令和5年度生活支援体制整備事業実績報告について ・令和6年度事業計画案について ・その他について

- ・生活お助け隊の運営管理

生活お助け隊連絡会・研修会の開催

No	月	日	内 容	参加者数
1	7	24	講演 身元保証と終活支援 講師 NPO 法人ライフサポート青森 事務局長 花田鈴子氏 チーフアドバイザー 竹谷淳子氏	55名

支えあい活動講座の開催

No	月	日	内 容	参加者数
1	12	19	・生活お助け隊の現状について ・老いじたくについて ・認知症の理解について ・修了式、お助け隊登録	6名

- ・生活お助け隊派遣事業

高齢者が日常生活を継続するために見守り等が必要な高齢者等に対し、生活お助け隊を派遣した

利用登録者	39名	生活お助け隊登録者	70名
-------	-----	-----------	-----

・利用実績

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
取付修理	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ゴミ出し	8	7	11	8	18	10	4	3	5	6	2	7	89
買 物	6	7	2	2	3	4	4	3	8	4	2	2	47
冬期除雪	0	0	0	0	0	0	0	0	23	8	0	0	31
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	14	14	13	10	21	14	9	6	36	18	4	9	168
実利用者数	4	5	5	4	6	4	5	4	7	4	2	4	54

- ・生活支援体制整備事業 PR 動画作成及び上映した
- ・各種会議等でおいじたくについて周知啓発を行った
- ・各種研修、会議等に参加

④ふれあい支援（保険外サービス）事業

- ・介護保険サービスや障害福祉サービス等で提供できないサービスを保険外で実施した主なサービス内容は、病院内での院内介助であった
- 料金は 30 分で 500 円、以下 30 分毎に 500 円を加算

・年間利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	14	12	6	10	5	6	4	7	11	9	5	5	94
内 訳	介護	11	6	1	2	2	3	1	4	6	4	1	44
	障害	0	1	1	2	1	0	0	0	1	0	0	7
	外出	3	5	4	6	2	3	3	4	5	4	1	43
利用者数	8	11	5	8	4	5	4	6	9	6	5	4	75

⑤脳の健康教室の実施

- ・町からの受託による実施
- ・脳の健康教室サポーター13 名を委嘱
(サポータースタート研修 5/14、楽習者説明会 5/28)
- ・町内 3 地区での実施（6 月から 11 月の 6 ヶ月間実施）

No.	会 場	実施曜日	実施回数
1	深浦（フィットネスプラザゆとり）	毎週火曜日	23 回
2	岩崎（ふれあいと創造の館）	毎週水曜日	24 回
3	大戸瀬（大戸瀬支所）	毎週金曜日	24 回

- ・三教室合同交流会（10/7）
- ・修了式（11/19）修了者 33 名

⑥認知症カフェ（ゆとりカフェ）の実施

- ・町からの受託による実施
- ・フィットネスプラザゆとりでの実施
- ・出張ゆとりカフェを実施（11/8 大戸瀬支所）

No.	実施日	参加者	内 容
1	4 月 24 日	12 名	・ミニ講話「認知症の心を感じて(DVD)」・アクティビティ「紙工作」
2	5 月 29 日	16 名	・アクティビティ「うたごえ、脳トレプリント」
3	6 月 26 日	11 名	・ミニ講話「食生活で認知症予防」・アクティビティ「ウルトラトレナーで楽しく運動」
4	7 月 31 日	11 名	・ミニ講話「交通安全について(DVD)」・アクティビティ「金魚ねぶた」
5	8 月 28 日	9 名	・ミニ講話「認知症と上手な付き合い方」・アクティビティ「浮き輪とボールを使った運動」

No.	実施日	参加者	内 容
6	9月25日	16名	・アクティビティ「うたごえ、バランスタワー」
7	10月30日	8名	・ミニ講話「口腔ケアについて」・アクティビティ「マグネットフラワー」
8	11月8日	10名	・ミニ講話「二本の傘(DVD)」・アクティビティ「脳トレ運動」
9	12月25日	11名	・アクティビティ「うたごえ、ロバ隊長作り」
10	1月30日	16名	・ミニ講話「葬儀・お墓・仏壇の疑問」・アクティビティ「うたごえ」
11	2月26日	9名	・ミニ講話「福祉安心電話サービス」・アクティビティ「ランドセル」
12	3月26日	11名	・ミニ講話「認知症予防〇×クイズ」・アクティビティ「脳トレプリント」

2-2 福祉教育・ボランティア推進校の推進

(1) 福祉意識の高揚と人づくり

①第20回深浦町社会福祉大会の開催（共同募金受配事業）

- ・期 日 令和6年10月31日（木）午後1時30分～
- ・会 場 深浦町フィットネスプラザ「ゆとり」多目的ホール
- ・参加者 約80名
- ・内 容
 - 式典 表彰状 3個人
 - 伝達表彰 西津軽郡社会福祉協議会会長表彰 6個人
 - 青森県社会福祉協議会会長表彰 2個人
 - 児童生徒による福祉作文の発表
 - 講演 「笑いながら健康運動」
 - 介護予防指導士 太 田 詩 子 氏
 - 健康運動指導士 棟 方 由美子 氏

(2) 福祉教育の推進

①ボランティア活動推進校の指定（共同募金受配事業）

- ・各校の活動状況一覧
- <令和6年度において実施した行事>

実 施 行 事 名	実施校	内 容 等
体育祭・運動会・文化祭・学習発表会	3	地域住民を来賓として招待
各種募金活動	5	緑の羽根募金・赤い羽根募金
環境美化活動	3	沿道、公園、海岸のゴミ拾い、学区内 JR 駅の清掃
鮭稚魚放流体験	2	追良瀬川での放流
人権啓発のための花植え付け	3	人権文字入りのプランターへ花苗植え付け
福祉作文の出展	5	福祉作文の出展、大会でのビデオ発表
あいさつ運動	2	校内でのあいさつ運動
稲作・餅つき体験・おにぎり大会	2	稲作体験をすると共に収穫した米で餅つき等を行う
環境保護リサイクル	3	空き缶等の回収
地域ボランティアによる読み聞かせ活動	1	本の読み聞かせ活動
職場体験	2	町内各事業所において職場体験
外部講師による講話	1	昔の話、命の誕生、生命尊重・福祉について
地区児童委員との情報交換会	1	地区の児童委員と地域の状況について情報交換
広報啓発	1	熱中症・各感染症等の予防呼びかけ
体育祭・運動会・文化祭・学習発表会	3	地域住民を来賓として招待
各種募金活動	5	緑の羽根募金・赤い羽根募金

実施行事名	実施校	内 容 等
環境美化活動	3	沿道、公園、海岸のゴミ拾い、学区内 JR 駅の清掃

<今後検討している行事>

- ・体育大会招待 ・大中祭招待 ・民生委員さんの給食試食会 ・学習発表会招待
- ・海岸沿道清掃 ・福祉施設訪問

<感想・意見等>

今年度は昨年度よりも、新型コロナウイルス感染症の影響は受けなかった。感染症対策中には中止にしていた高齢者疑似体験などができ、その他の多くの体験活動も実施することができた。来年度も、行事の企画及び運営方法を工夫して実施、社会福祉に対する意識を高めることのできるような取り組みをしていきたいと考える。

また、PTAによる朝の読み聞かせ(お話会)等により読書を活発にするための働きかけを積極的に行い、知的な面と共に社会福祉の基盤となる豊かな心も育むことができた。今年度もボランティア予算を配分していただいたことにより、積極的に体験の場を設定することができたので、深浦町社会福祉協議会に感謝申し上げたい。

今年度は、稚魚の放流や学校行事への招待などを実施し、地域の方々との交流の場を多く設定することができた。稚魚の放流では、地域の産業である漁業に関心をもつきっかけとなり、総合的な学習へつなげることができた。運動会や学習発表会への招待や車いすの寄贈等をとおして、学校の教育活動を伝えることができた。

今後も福祉に関する活動を継続し意識の高揚を図っていきたい。

現在の社会情勢を鑑み、活動できなかった行事を検討していきたい。

また、校外への訪問等も計画していきたい。

計画どおりに行事を行うことができました。

引き続き感染症対策を行ったうえで、生徒にとって良い経験となる教育活動を行っていききたいです。

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまな事業が縮小となりました。体育大会や大中祭などの行事に地域のご老人をご招待することはできませんでしたが、生徒会の各委員会が、「地域のためにできること」を企画し活動しました。

保健体育委員会は「熱中症予防」にかかわるポスターやチラシを作成し、大戸瀬支所や地域の老人施設に配布しました。生活委員会は、放課後学校付近の清掃を行いました。

家庭科の授業でぬいぐるみを作成し、各保育園に寄贈しました。

また、大戸瀬中学校の環境を整備するため、グラウンドの草取りなどの作業を保護者にも協力してもらいながら行いました。

②福祉出前講座の実施

No.	開催日	会 場	参加者	内 容
1	9 月 17 日	深浦小学校	4 年生 16 名	・高齢者疑似体験 ・車いす体験
2	2 月 5 日	深浦中学校	1 年生 25 名	・福祉講演会

③福祉の作文集の発行（共同募金受配事業）

- ・小中学校生徒による福祉作文集の発行 350 部

(3) ボランティア活動の推進

①ボランティアセンター事業の実施（共同募金配分事業）

1) ボランティアの登録状況（令和 7 年 3 月現在）

- ・登録の状況

団 体 31 名 (2 団体)

個 人 8 名

合 計 39 名

- ・保険加入状況 215 名

2) その他の事業等

- ・切手等収集ボックスの設置（1 ヲ所）
- ・ボランティア活動の依頼 赤い羽根共同募金

②災害ボランティアネットワークの構築

- ・避難訓練参加、実施
- ・災害ボランティアセンター設置訓練
- ・市町村社協ボランティア担当者会議
- ・災害ボランティアセンター設置運営者研修
- ・つ西北五社協職員連絡会福祉避難所模擬訓練
- ・青森県社会福祉協議会災害時相互応援協定
- ・つがる西北五社協災害時応援協定
- ・青森県災害協定ネットワーク会議（オンライン）

2-3 福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能の充実

（１）福祉情報の提供

①社協だよりの発行

- ・各地区の行政連絡員を通して毎戸配布及び町内各公共関係機関 50 件へ配布

No.	発行日	発行部数	内 容
第 110 号	5 月 24 日	3,500 部	・事業計画及び予算・社協会費納入のお願い・安心電話紹介 等
第 111 号	8 月 9 日	3,500 部	・事業報告及び決算報告・ひまわり号・おいじたく 等
第 112 号	9 月 27 日	3,500 部	・共同募金運動お願い・権利擁護・各団体活動 等
第 113 号	11 月 22 日	3,500 部	・社会福祉大会・団体研修会・いきいき交流会 等
第 114 号	1 月 31 日	3,500 部	・新年あいさつ・生活福祉資金・権利擁護 等
第 115 号	3 月 28 日	3,500 部	・町老連芸能大会・福祉出前講座・新年ふれあい交流会 等

②社協ホームページの管理

- ・インターネットを通じた情報の提供

（２）相談体制の確立

①心配ごと相談事業の実施

- ・事務局・介護職員の相談業務
- ・相談の実績

相談事項		生計	職業・生業	住宅	家族	健康・衛生	医療	人権法律	財産	高齢者福祉	苦情	その他	合計
取扱件数		20	5	3	2	1	1	1	1	9	1	6	50
処理状況	解 決	13	2	2	0	1	0	1	1	7	1	4	32
	他機関	7	3	0	2	0	1	0	0	2	0	2	17
	その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

②福祉サービス苦情解決第三者委員会の設置

- ・第三者委員 3 名を委嘱し、相談、苦情解決体制を構築

（３）生活支援体制の確立

①たすけあい資金貸付事業の実施

- ・一時的な生活資金の確保のため、20 万円を限度とする無利子の一時資金
- ・3 万円を限度とする無利子の緊急小口資金

- ・制度のPRと償還指導の実施
- ・令和6年度貸付申込、決定件数及び金額

申込件数	金 額	決定件数	金 額
1	30,000	1	30,000

- ・令和6年度末貸付者件数及び金額

貸付者件数	金 額
2	300,000

②生活福祉資金貸付事業の実施

- ・制度をPRし有効活用を図る
- ・利用相談及び貸付、償還指導の実施
- ・特例貸付遅延者へのフォローアップ
- ・令和6年度実績

(本則貸付)

No	資金種類	償 還 計 画			償 還 実 績			償還率 %
		貸付元金	貸付利子	延滞利子	貸付元金	貸付利子	延滞利子	
1	更生資金	1,040,423	101,040	6,982,045	107,310	11,690	40,000	10.31
2	更生資金(障害)	0	0	0	0	0	0	-
3	生活資金	0	0	0	0	0	0	-
4	福祉資金	1,280,120	65,330	823,171	98,600	1,920	0	7.70
5	教育支援資金	4,362,400	0	7,812,590	480,100	0	80,188	11.01
6	療養・介護等資金	66,685	5,280	483,566	0	0	0	0.00
	合 計	6,749,628	171,650	16,101,372	686,010	13,610	120,188	10.16

※償還免除：更生資金1件、更生資金(障害)1件、生活資金1件、療養資金1件

(コロナ特例貸付)

No	資金種類	償 還 計 画			償 還 実 績			償還率 %
		貸付元金	貸付利子	延滞利子	貸付元金	貸付利子	延滞利子	
1	総合支援資金	101,630	0	0	101,630	0	0	100.00
2	緊急小口現金	383,340	0	1,417	100,040	0	0	26.10
	合 計	484,970	0	1,417	201,670	0	0	41.58

③総合的権利擁護事業の推進

ア. 日常生活自立支援事業の実施

- ・青森県社会福祉協議会から受託
- ・利用者件数(令和7年3月31日現在)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
7	4	2	13

- ・相談件数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明・その他	計
問合せ件数(制度・事業)	8	0	1	1	10
初回相談件数(契約手続き)	3	0	1	0	4
相談援助件数	27	16	12	0	55
計	38	16	14	1	69

- ・契約の状況 新規契約3件、解約1件
- ・各種会議出席 基幹的社協等連絡会議2回(青森・オンライン)
専門員・生活支援員研修会1回(青森)

関係機関連絡会議 1 回（オンライン）

- ・ 預かり書類等現物検査 — 指摘事項なし

イ. 法人後見事業の実施

- ・ 受任件数(令和 7 年 3 月 31 日現在)

類型	受任状況		被後見人等の区分		被後見人の状況		申立の状況	
	受任中	終 了	認知症	知的障害	身寄りが ない	親族有り 支援困難	親 族	町 長
後 見	9	13	22 (4)	0	0	22 (4)	8	14 (4)
保 佐	6	0	4	2	0	6	1	5
補 助	2	2	4	0	0	4	0	4
計	17	15	30 (4)	2	0	32 (4)	9	23 (4)

() 内は生活保護受給者

- ・ 令和 6 年度法人後見受任者及び終了者の状況
 - 1) 新規受任・・・1 件（類型：後見 1）
 - 2) 終了者・・・1 件
- ・ 受任者への支援
 - 1) 金銭管理、財産管理及び身上監護の実施
 - ①毎月の収入確認、利用料、医療費等の支払い
 - ②介護サービス、入院等の契約事務、利用料等の支払い
 - ③毎月本人との面会による状態確認、必要に応じて親族への報告
 - ④遺産分割協議
- ・ 権利擁護事業に関する研修会への参加
 - 1) 権利擁護センターあじがさわ運営協議会（鯉ヶ沢町）1 回
 - 2) 権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議（鯉ヶ沢町・深浦町）14 回
- ・ 裁判所との協議報告書等
 - 1) 定時後見等事務報告、報酬付与申立 15 件
 - 2) 初回事務報告、受任時財産目録、収支予定表提出 1 件
 - 3) 後見事務終了報告 1 件
- ・ その他
 - 1) 成年後見制度等に関する広報啓発（社協だより 2 回）

④生活困窮者等に対する相談等事業

福祉事務所未設置町村相談事業の実施

- ・ 福祉事務所未設置町村相談窓口業務の町から受託
- ・ 専門員 1 名配置
- ・ 県社協・西北地域自立相談窓口への橋渡し
- ・ 生活困窮者自立相談支援事業推進会議（5 月）
- ・ 支援調整会議（8 月・2 月）
- ・ 新規相談 10 件、支援件数 233 件支援
- ・ しあわせネットワーク経済的援助 1 件
- ・ フードバンクの利用 11 件

⑤日常生活費の預かり事業の実施

- ・ 食糧品、日用品等の買物代を預かり管理
- ・ 契約件数 2 件（令和 7 年 3 月 31 日現在）

3-1 町社協基盤の充実強化

(1) 社協組織の強化

①理事会・評議員会の充実

ア. 理事会の開催

No.	開催日	会 場	出席者	議 案
1	6 月 5 日	多目的ホール	理 事 10 名 監 事 2 名	・ 令和 5 年度監査報告 ・ 令和 5 年度事業報告について ・ 令和 5 年度深浦町社会福祉協議会会計収支決算について ・ 令和 6 年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算案について ・ 深浦町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について ・ 評議員会に提出する議案について ・ 会長の職務の執行状況について
2	9 月 27 日	多目的ホール	理 事 8 名 監 事 1 名	・ 第 20 回深浦町社会福祉大会の開催について ・ 令和 6 年度普通会費の納入実績と分会推進費の交付について ・ 経理規程の一部改正について ・ 職員給与規程の一部改正について ・ 令和 6 年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算案について ・ 深浦町ボランティア活動保険助成事業実施要綱の制定について ・ 令和 6 年度青森県社会福祉施設等指導監査の結果について ・ 令和 6 年度共同募金運動について ・ 評議員会に提出する議案について ・ 会長の職務の執行状況について
3	12 月 18 日	多目的ホール	理 事 9 名 監 事 3 名	・ 令和 6 年度上半期中間監査の結果について ・ 令和 6 年度社会福祉協議会会計資金収支補正予算案について ・ 令和 7 年度町補助金等の要望について ・ 令和 5 年度決算にかかる附属明細書の一部訂正について ・ 評議員会に諮る案件について ・ 会長の職務の執行状況について
4	3 月 20 日	多目的ホール	理 事 9 名 監 事 3 名	・ 令和 6 年度深浦町社会福祉協議会会計資金収支補正予算案について ・ 令和 7 年度深浦町社会福祉協議会事業計画案について ・ 令和 7 年度深浦町社会福祉協議会会計収支予算案について ・ 深浦町社会福祉協議会自己評価結果について ・ 役員等損害賠償保険の加入について ・ パートタイマー就業規則の一部改正について ・ シルバーバンク事業就労報酬の引き上げについて ・ 任期満了による福祉サービス苦情解決第三者委員の選任について ・ 任期満了による理事・監事候補者の推薦について ・ 評議員会へ提出する議案について ・ 会長の職務の執行状況について ・ 深浦町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

イ. 評議員会の開催

No.	開催日	会 場	出席者	議 案
1	6 月 20 日	多目的ホール	評議員 16 名 理 事 1 名 監 事 1 名	・ 令和 5 年度監査報告 ・ 令和 5 年度事業報告について ・ 令和 5 年度深浦町社会福祉協議会会計収支決算について ・ 令和 6 年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算案について
2	10 月 15 日	書面決議	評議員 24 名	・ 令和 6 年度深浦町社会福祉協議会収支補正予算について ・ 令和 6 年度青森県社会福祉施設等指導監査の結果について
3	12 月 27 日	表面決議	評議員 24 名	・ 令和 6 年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算について ・ 令和 5 年度決算にかかる附属明細書の一部訂正について
4	3 月 27 日	多目的ホール	評議員 17 名 理 事 1 名	・ 令和 6 年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算について ・ 令和 7 年度深浦町社会福祉協議会事業計画について ・ 令和 7 年度深浦町社会福祉協議会会計収支予算について ・ 深浦町社会福祉協議会事業自己評価結果について ・ 役員等損害賠償保険の加入について

ウ. 監査会の開催

No.	開催日	会 場	出席者	議 案
1	5 月 20 日	健康相談室	監 事 3 名	・ 令和 5 年度深浦町社協事業の実施状況及び資金の収支の状況並びに財産の状況について
2	12 月 5 日	健康相談室	監 事 3 名	・ 令和 6 年度上半期深浦町社協事業の実施及び資金の収支の状況並びに財産の状況について

②地区分会の組織と活動強化

ア. 分会長会議の開催

No.	開催日	会 場	出席者	議 案
1	5 月 28 日	多目的ホール	分会長 28 名	・ 令和 6 年度社協事業等について ・ 令和 6 年度社協普通会費の納入について ・ 令和 5 年度共同募金実績報告及び令和 6 年度共同募金運動実施計画について
2	9 月 27 日	多目的ホール	分会長 25 名	・ 令和 6 年度普通会費実績額について ・ 令和 6 年度分会推進費交付について ・ 令和 6 年度共同募金運動について

イ. 組織と活動強化

- ・ 分会推進費を交付し小地域での活動を支援

③フィットネスプラザゆとりの管理

- ・社協活動拠点としての町指定管理を継続
- ・多目的ホール等施設の貸出し及び施設利用料の徴収
- ・施設及び設備、器具の維持管理
- ・年間利用実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
多目的 ホール	回数	4	7	4	6	7	5	7	5	3	1	1	4	54
	人数	71	575	655	115	120	100	175	300	45	20	10	278	2,464
健 康 相談室	回数	2	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	9
	人数	25	5	0	15	15	0	0	10	6	10	0	15	101
研修室	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	回数	6	8	4	7	8	5	7	6	4	2	1	5	63
	人数	96	580	655	130	135	100	175	310	51	30	10	293	2,565

④第3次地域福祉活動計画の周知及び進捗管理

- ・第3次計画の内容を広く関係者及び住民に周知
- ・計画の進捗管理と点検評価

(2) 職員体制の強化

①職員の処遇安定

- ・定期昇給、昇格及び処遇改善手当の支給の実施
- ・人事異動、事務分担の変更
- ・福利厚生センターへの加入
- ・定期健康診断受診
- ・就業規則等の一部改正

②福祉専門職としての資質向上

ア. 職員の資質向上

- ・専門職としての資格取得の支援
- ・打合せ会や内部研修の実施

(3) 関係機関・団体との連携

①社会福祉法人、事業者との連携

- ・社会福祉法人等連絡会の運営（総会・役員会・監査会を開催）
- ・車両への「見守りステッカー」貼付による地域の見守り活動実施
- ・深浦町福祉・介護事業者等の災害等相互支援に関する協定
- ・各事業者との連携・連絡調整
- ・複数法人連携による地域貢献協働事業・深浦ネットワーク会議の開催（1回、県経営協）

②各種関係機関・職能団体への参加

- ・青森県市町村社協連絡会への参加
- ・つがる西北五社協事務局長連絡会への参加
- ・つがる西北五社協職員連絡会との連携した事業の実施
- ・青森県社会福祉会、西北五支部研修会へ参加
- ・青森県介護支援専門員協会西北五支部研修会への参加
- ・青森県ホームヘルパー連絡協議会西北五支部研修会への参加
- ・全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会への参加

(4) 財政基盤の整備

① 会員会費制度の理解と加入促進

- ・ 普通会費 2,571 世帯加入
- ・ 賛助会費 60 事業所加入
- ・ 特別会費 14 団体加入

② 公費助成の確保

- ・ 町と連携した事業の取り組みによる補助事業、受託事業の実施

③ 自主財源の確保

- ・ 自動販売機の設置による販売手数料を収受
- ・ 法人後見報酬の一部を法人運営事業及び地域福祉活動へ活用

④ 共同募金事業への協力

- ・ 社協だよりへ募金活動協力依頼掲載
- ・ 一般募金、街頭募金の協力
- ・ NHK 歳末たすけあい事業の実施（新年ふれあい交流会）

⑤ 基金・積立金の運用

- ・ 利息を社会福祉事業へ活用

⑥ 各種助成制度等の活用

- ・ 自主財源の負担軽減のため、助成制度の活用

※令和 6 年度共同募金実績

目 標 額		1,610,000
実 績 額		1,693,257
内 訳	戸別募金	1,265,800
	街頭募金	29,120
	学校募金	44,825
	そ の 他	353,512
達 成 率		105.2%